

プログラム	NEXT産業創造	必修・選択	必修	単位	－	学期	秋期
科目群	事例研究科目	科目名 (英文表記)	実践事業デザイン特論 Business Design		教員名	亀井省吾、城裕昭、 石丸亜矢子	

概要	地域における事業開発の事例を研究する。ゲスト講義では、事例を理解することを通じて、その業界における課題を認識し、その課題に挑む事業マネジメントを擬似経験する。ビジネス環境はどう変化しているか、ステークホルダーは誰か、ビジネスモデルはどうなっているか、ビジネスプロセス等を正しく把握した上で、どのような課題があるかを明確にする。ワークショップでは、その課題に対するソリューション（解）をチームで発案、検討し、結果をプレゼンテーションする。初回にチーム分けをするので受講者は必ず参加すること。			
目的・狙い	チームで事例を多角的に検討する。講義された内容を前提とするが、不足情報はチームで独自に収集する。仮説・検証の考え方が求められ、自分の考え方と他メンバーとの考え方に違いがあった場合に、なぜ自分は他メンバーと違う発想をしたかについて自省することが重要になる。チームとしてひとつの結論に至るだけでなく、チームメンバー全員がその結論に至った理由を同じように説明できることが求められる。プレゼンテーションでは、独自性、論理性、実現性が求められる。			
前提知識 (履修条件)	企業での仕事の経験、ビジネス経験があるのが望ましい。 各自のPCを持参でき、Excel・Word・PowerPointを使える。			
到達目標	上位到達目標			
	ビジネス課題を抽出し、その課題に対するソリューションを独自の視点で開発するだけでなく、ストーリー化してプレゼンテーションできる。			
	最低到達目標			
	ビジネスを分析するタスクのチームメンバーとして、チームに貢献できる。			
授業の形態	形態	実施	特徴・留意点	
	遠隔授業			
	対面授業	対面講義（双方向）	○	全て対面講義
		実習・演習（個人）		
		実習・演習（グループ）	○	提示された課題をチームで集中的に取り組む。
	サテライト開講授業			
その他				
授業外の学習	各事例について、情報収集・分析・プレゼンテーション準備など、必要な事前個人活動を行う。 コミュニケーションツール（チャットワーク、Zoom）を活用した自主的なチームディスカッション活動は必須。			
授業の内容	1) ゲスト講義（4コマ） 2) チーム討論ワークショップ・発表（4コマ）			
授業の計画	回数	内容		
	第1回	オリエンテーション、クラファン基礎講義（ゲスト：株式会社サノス 板越ジョージ社長）、クラファン実践事例講義（ゲスト：D1Cafe 大槻智美氏・コアマシナリー株式会社 岡本真樹社長）		
	第2回	クラファン構想ワークショップ、発表講評		
	第3回	農業に関するサステナビリティ基礎講義（ゲスト：株式会社Season 久保世智社長、安部大輔相談役）		
	第4回	農業に関するサステナビリティ構想ワークショップ、発表講評		
	第5回	カーボンニュートラル基礎講義（ゲスト：福知山市産業政策部エネルギー・環境戦略課 足立訓章企画係長）、自然のエネルギーを活用して快適に暮らす『パッシブハウス』（ゲスト：西田工業株式会社 宇田川鎮生取締役）		
	第6回	カーボンニュートラルシェアハウス『プラネットハウス』構想ワークショップ		
	第7回	起業家コミュニティ事例講義（ゲスト：一般社団法人NEXT福知山 四方常之代表理事、栗原健司理事、赤石洋平理事）、NEXT構想ワークショップ、発表講評		

	第 8 回	ふるさと納税基礎講義（Scale-UP株式会社 大村献社長）、ふるさと納税案件創出ワークショップ、発表講評
教科書・教材	教科書は特に指定しない。 講義関連資料は配布する。	
参考図書	必要に応じて指示する。	
成績評価	ケースのチーム発表（チームとして評価するが、個人の役割・貢献を加味することがある）（60%）、 個人活動内容（25%）、クラス議論での参画度合（15%）。 評価は最低到達目標を基準に合否決定する。	